

自立活動だより



令和7年度 第5号

県立鹿児島聾学校 自立活動部
文責：小田

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。



とつせん

しつもん

突然ですが、みなさんに質問です！

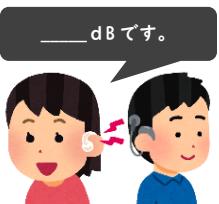
- ① 自分の「きこえ」を説明できますか？
- ② 「将来の目標」を伝えられますか？
- ③ 「必要な支援」を自分で求められますか？

①～③の答えは、みなさん一人一人違います。つまり、自分で、今の自分なりの答えをもっておく必要があります。その答えは変わっても良いです。

「セルフアドボカシー」という言葉を知っていますか？

「自分にとって必要な支援を求める、周囲の理解を得ていくための力」のことです。この力は、必ずみなさん一人一人の人生を支えます。①～③の質問に、より具体的に答えられるようになると、セルフアドボカシーの力が身に付いてきていると言えるのです。

自分にとって必要な支援を求めるためには、まず①自分の「きこえ」を自分の言葉で説明することから始まります。自分の左右の耳の平均聴力、きこえる音、きこえない音、ききやすい場所、ききにくい場所、…答えられる自信はありますか？



___dBです。



次に、自分の意思で②「目標」を決められると、行動が変わります。3学期の目標、今年の目標、将来の夢、行事や交流学習で頑張りたいこと、家でできるようになりたいこと、…誰かに言わされた内容ではなく、自分で考えて自分で決めた内容ですか？

最後に、目標に向かって行動を起こすと困りごとが出てくるので、③必要な支援を自分で求める経験ができます。学校に通っている間はいつでも練習期間！今のうちから自分の困りに気付いて、困りを周りの人間に伝えることが大切です。そうすると自ずと「こんな助けがあったらできる=必要な支援」が見えてきます。お父さんお母さんでもなく、先生でもなく、あなたが！中心になって話し合う機会を逃さないでください。



2026年も、先生たちはみなさんの「きこえ」の話を受け止め、みなさんと一緒に考えます。みなさん自身が成長を実感できる、充実した1年になりますように。